

リモート審査 FAQ (よくある質問と回答)

Q1: リモート審査はどのように実施されるのでしょうか？

A: 原則、御社から提供いただくICTツール専用回線によるテレビ会議システム（Zoom、Skype、WebEX、Microsoft Teams、Facetime、Google Meet、Google Hungouts等*これに限りません）を利用し実施させていただきます。サイトの確認については、タブレットやスマートフォンなどの可動性のある機器を利用いただきサイトの中継いただく形式をとります。ICTツールをお持ちでない場合は、別途ご相談ください。審査員は、BSI各拠点、外部会場、自宅から、セキュリティが担保された状況で、ご担当者様へ、これらのシステムを利用し画面と音声を通じ、リモート審査を提供させていただきます。

Q2: リモート審査は通常の審査と異なりますか？

A: 基本的には同じです。ただし、書類確認等に通常よりも確認に時間がかかる場合がございます。そのため事前準備が重要です。審査計画時にそれぞれ必要な書類を記載させていただいております。弊社審査員から必要な書類についてご連絡させていただきます。また、貴社との事前のネットワークや利用するソフトウェアやシステムの接続確認を行うことも重要となります。弊社審査員が主導して対応させていただきますので、ご安心ください。

Q3: どのように、文書や記録などを確認するのですか？

A: 事前に審査員に、電子データまたは紙で送付いただきます。電子エビデンスがある場合は合わせて送付お願いします。送付が難しい場合は、カメラで映していただいたり、システムの画面共有機能を活用して拝見させていただきます。確認できる範囲は限られる場合もございますので、事前の書類確認などの準備が重要となってきます。

Q4: リモート審査に必要な電子機器を持ち込めない施設があるのですがどうすればいいのでしょうか？

A: 事前に審査員と貴社とのお打ち合わせを通じて、審査に必要な範囲の確認をさせていただければと思います。お打合せの結果、実地審査でないと認証の有効性が判断できない場合は、現地審査で実施させていただきます。

Q5: リモート審査の費用は通常の審査と異なりますか？

A: 審査費用は同じです。移動しないため、旅費交通費等のご請求金額が低減されます。但し、貴社事業所に向いて審査を行う場合は、通常の審査と同じく、旅費交通費等が発生しますので、ご契約通りのご請求となります。

リモート審査 FAQ (よくある質問と回答) Page.2

Q6: 初回認証審査はリモート審査で実施可能でしょうか？

A: 初回第1段階審査はリモート審査で実施可能です。初回第2段階審査も電子機器を使用してフルライブで審査を実施できる場合は実施可能です。実施できない場合はQ4を参照ください。

Q7: 業務が稼働していないのですが、審査を受けることは可能でしょうか？

A: 100%稼働していない場合は、延期となります。その場合「GF063」という書式に貴社緊急事態をご記入いただけます。審査種別（サーベイランス審査、再認証審査）によって、延期が可能かを判断しご連絡いたします。その判断は IAF ID3:2011（認定機関、適合性評価機関及び認証された組織に影響を及ぼす非常事態又は特殊な状況の管理に関する IAF 参考文書）という基準に基づいて判断致します。ちなみに、IAF ID3:2011が適用されない場合、初回に続くサーベイランス審査の場合、認証書が発行された1年後までに審査を受審いただけない場合は、認証が一時停止します。再認証審査の場合は、定められた期限までに審査を受審されない場合は、認証書が失効いたします。

Q8: 全ての規格、対象拠点がリモート審査で実施可能ですか？

A: ほとんどの規格、対象拠点でリモート審査の実施が可能です。

*一部のセクター規格IATF 16949,FSSC 22000はリモート審査の実施が認められていません。

Q9: 全員在宅場合のリモート審査はどうなるのでしょうか？

部門ごとのインタビューなどの実施の場合は、複数の担当者がWEB会議に入る必要がありますか？

A: 通常の審査と同様にお考え下さい。

*複数名必要な場合は、ご参加いただく必要があります。

Q10: 審査に向けた準備が十分できていません。審査受審は可能でしょうか？

A: 弊社営業および審査員にご相談いただければと存じます。

Q11: リモート審査に必要なツールを使いこなす自信がありません。

A: 事前にテストをさせていただきますので、ご安心ください。同様のお悩みのお客様をお持ちのお客様も多いのですが、事前テストでお悩みを払拭させていただいております。

Q12: リモート審査を受けられる環境はどのような環境でしょうか？

A: インターネットへの接続が可能な環境下にあることです。また、PCなどのICT機器を保有されていることが前提となります。

* サイトツアーを実施させていただく必要があると判断された場合には、ライブ中継できるICT機器が必要となります。